

平成25年度

まちづくり活動助成団体紹介

まちづくり基金による

まちづくり活動助成を受けた団体を紹介します。

「地域“魅力”アップ部門」から1団体、

「“はじめの一步”部門」から3団体についてご紹介します。

地域“魅力”アップ部門

わけおえ 別小江みこし会

地域の子ども達が大人になったとき、「自分の住んでいたまちに愛着を持ち続け、自慢できるふるさとを創ってあげたい」、そんな思いを抱いた有志が会を結成し、自治会や地域住民を巻き込み活動を行っています。今回のまちづくり活動助成では、夏祭り、秋祭り、年末餅つき大会を会の主導により行います。祭りという一過性の催事にとどまらず、「まちの子どもは地域で育てる。」を目的に、地域住民のコミュニケーションの場として、まちの活性化につながる精神を大切に活動したいと考えています。



秋まつりの様子

お問合せ先 | 犬飼 浩貴 e-mail h-inukai@viscas.com

“はじめの一步”部門

DRF (ディーアールエフ Danchi Revolution Factory)

地域でのコミュニティ形成のあり方が大きく見直されています。人と人との関わり方の改善の原点になるのが「団地」だと考えています。

今回のまちづくり活動助成では、地下鉄ギャラリーで団地の現状、魅力等の写真展を開催し、来場者から意見等を聞きます。公共の場を活用して、建築家や専門家らと団地の魅力を語るトークイベントやプレゼンテーションを実施します。また、団地内イベントを開催し、住民の方から意見を聞き、団地を見直し団地に活気、元気を取り戻すきっかけ作りを行います。



地下鉄ギャラリー展示の様子



来場者の一言コーナー

お問合せ先 | 辻 唯寿 e-mail info@1138house.com

“はじめの一步”部門

ひろみ 広見学区女性の会「桜会」

地域の防災について意識を高めてもらい、住みよいまちづくりを地域の皆さんと共に考え、女性ならではの細やかなボランティア活動を行い、防災意識を高めていきます。

今回のまちづくり活動助成では、地域の女性同士のコミュニケーションを図るため、講座開催と交流会を開催し、ご近所付き合いを広げる場を作ります。また、災害が起きた時、素早く活動が行えるように学区や消防団の協力を得て、防災訓練と炊き出しを行います。更に、危険箇所や避難場所を実際に歩いて確認し、区内の方からも災害に役立つ情報を提供していただき、お年寄りにも分かりやすい防災マップを作成し、配付します。



防災訓練の様子

お問合せ先 | 犬飼 やよい e-mail inukaisora519@tg.commufa.jp

どうせいちょう 陶生町自主防災会

防災まちづくり名古屋一番のモデル町内会を目指し、点の防災から面の防災力へと提案し、防災だけではなく、楽しい温かい地域社会づくりを進めていきます。

今回のまちづくり活動助成では、①風呂桶の貯め水や街角に置いた大型ゴミバケツを利用した防火水槽の水をバケツリレーしての消火訓練。②山登りの各種のロープワークを利用したがれき除去などの救出救護訓練や簡易担架・松葉杖の作製と搬送訓練。③周辺の町内やマンション住民等と行う防災勉強会と訓練。④「幸せの黄色いリボン」「笛」を用いた安否確認訓練。⑤地域の絆づくりを兼ねた炊き出し訓練。⑥全戸に対して防災減災対策の実施状況調査を行います。



安否確認の報告の様子



各戸が無事を伝える黄色いリボン

お問合せ先 | 高橋 芳彦 e-mail taka-y@quartz.ocn.ne.jp